

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	水道事業建設改良事業(配水施設等)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	水道局	課長名 坂本 卓博
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化		所属課	上下水道課	担当者名 田中 良知
	施策の柱	60	水の安定供給		所属班	水道班	(内線) 5244
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	<p>上水道の配水池等施設の整備を行う事業である。本事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として昭和37年度から事業を実施している。水道利用者数は増加傾向が続き、23,708世帯(対前年度比+476世帯)となっていることから、計画的な配水施設の整備等を行い安定的な水の供給を図ることとしている。現在、木原野配水池を築造中であり、平成30年度末で供用開始予定である。</p> <p>なお、平成28年度に竹迫地区簡易水道及び栄地区簡易水道を上水道へ統合した。</p>
【業務の流れ】	<p>上水道の配水池等施設整備のための工事発注等業務。用地取得が必要な場合は用地交渉あり。</p> <p>①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤配水池等整備工事⑥竣工検査⑦支払い事務</p>
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費) 工事請負費、委託料、用地購入費。
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	木原野配水池築造工事(配水タンク・管理棟・電気設備・機械設備・場内配管等) 木原野第6水源地造成工事	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	→ ア: 上水道配水池等施設数	(単位) 箇所: 木原野配水池築造工事費
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	上水道利用者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全で良質な水道水を安定的に使用できる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
① 活動指標	ア	箇所	9	9	14	14	14	14	14	14	
② 対象指標	ア	人	54,388	55,432	61,000	60,906	62,000	63,000	64,000	65,000	
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	53,000	412,585	1,009,000	700,000	700,000			
		その他	千円	8,368		252,389	113,325	313,059	290,000	90,000	77,000
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	61,368	412,585	1,261,389	813,325	1,013,059	290,000	90,000	77,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	7	7	4	6	4	4	4	0
		延べ業務時間	時間	1,380	1,560	500	2,620	500	500	500	0
(B) 人件費計	千円	5,123	0	1,992	10,364	1,992	1,992	1,992	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	66,491	412,585	1,263,381	823,689	1,015,051	291,992	91,992	77,000		

事務事業名	水道事業建設改良事業（配水施設等）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 木原野配水池築造工事を継続して行っていく。計画どおりに事業が進捗すれば、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 配水施設の増設・機能強化を進め、すべての上水道使用者に安定的な水道水の供給を行うこととしているため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 配水施設の整備等を行う類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 設計及び工事の詳細について打合せを綿密に行い、必要最小限の予算で事業を行うことにより削減余地がある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で、他事業との兼務で事業に当たっており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての上水道使用者に受益機会があり、同様に費用負担があるので公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 インフラ施設の整備であり、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

配水施設において、増設等の機能強化を図るとともに、老朽化した施設等の改築及び設備等の更新を進め、安心安全な水道水を安定して配水できるよう努める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					